

(法第10条第1項関係様式例)

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

主に今治市に対して、地域活性化に関する事業を行い、自治体、地域団体、企業、市民が協同し、時代の変化に対応しながら「自由に楽しむ」をテーマに活力ある地域作りに寄与することを目的とする。我々は、これまで任意団体Feel Freeとして地域活性化イベントを行ってきた。企業とのコラボイベントや海岸清掃、イルミネーションの設置など、今治市の豊かな自然を守りながら人々が楽しめる場を提供したいという思いで様々な活動に取り組んできた。徐々に認知度が高まり、一緒にイベントをしたいという企業や学生からの意見が届くようになった。開催規模も大きくなってきたため、法人として団体を運営し、資金を安定して確保していく必要がある。

2 申請に至るまでの経過

令和5年7月に地域の若者を中心に「Feel Free」という任意団体を立ち上げ、地域活性化を目指して活動してきた。以下がこれまでの活動である。

- ・令和5年9月、しまなみアースランドにて地域活性化イベントを初開催
- ・令和6年9月、環境保全活動として織田が浜海水浴場での海岸清掃
- ・令和6年12月、どんどび芝っち広場にて高さ10.8mの巨大ツリーの展示
- ・令和7年4月、道の駅伯方で懶ウィルビーとのコラボイベント
- ・令和7年9月、織田が浜海水浴場、道の駅双海シーサイド公園、梅津寺海岸、道の駅伯方SCパークでTシャツアート展の開催
- ・令和7年12月、ワールドプラザにてクリスマスマーケットの開催

イベント開催当初は数百名だった来場者数も千人を超え、地域の人々からの認知度も高まってきた。道の駅伯方SCパークでのイベントでは道の駅の売上が通常比の140%増加し、イベントによる地域への還元もみられるようになった。その反面、規模が大きくなるにつれて自己負担で行ってきた機材のリース代や人件費などの補填が厳しくなってきた。NPO法人を設立することで、会費や補助金を活用してこれまで以上に多くの若者や企業、地域の「やってみよう」を実現させられるイベントの企画・運営を行い、地域の人々が楽しめる場をより多く提供することで地域活性化に寄与していきたい。

令和8年 3月 4日

特定非営利活動法人 Feel Free

設立代表者 氏名 大野 力斗

